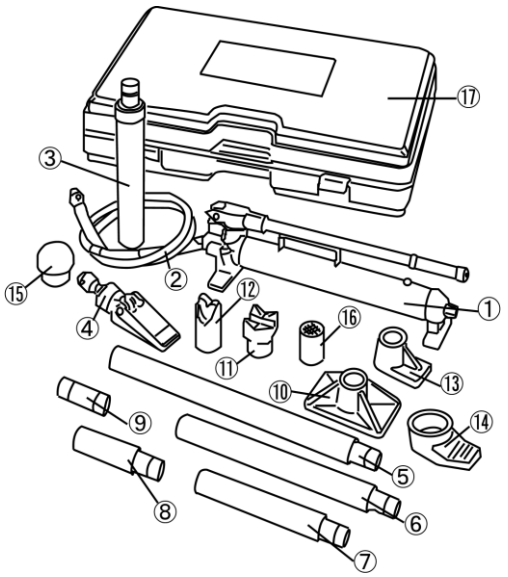
2015.1

取扱説明書
ボデー・リペア・キット　４ｔｏｎ
品番：＃３６１００００００　型式：ＨＤ１００４

１，仕様

・セット内容

品番	部　品　名　称
１	油圧ポンプ
２	油圧ホース（１．８ｍ）
３	油圧ラム４ｔｏｎ（ストローク１００ｍｍ）
４	スプレッダーラム
５	エキステンションチューブ　４００ｍｍ
６	エキステンションチューブ　３００ｍｍ
７	エキステンションチューブ　２００ｍｍ
８	エキステンションチューブ　１００ｍｍ
９	メールコネクター
１０	フラットベース
１１	９０°Ｖベース
１２	ウェッジヘッド
１３	スプレッダーブランジャートー
１４	スプレッダーラムトー
１５	ゴムヘッド
１６	セレイテッドサドル
１７	プラスチックブローケース



２，使用方法

①地面が固く、水平な場所で作業を行って下さい（傾斜面や軟弱地では使用しないで下さい。）。
②油圧ポンプを地面に対して、水平、又はホース部を下にして垂直の位置にセットして下さい。
③ラムの雌カプラーと油圧ポンプの雄カプラーのダストキャップを外して下さい。そして、ラムの雌カプラーと油圧ポンプの雄カプラーを確実に接続して下さい。
④油圧ラムにアタッチメントを確実に取り付けて下さい。
⑤本機を使用箇所にセットし、油圧ポンプの解放バルブを時計回転方向に締め付けて下さい。
⑥油圧ポンプのハンドルを上下に動かして下さい。ピストンロッドが伸びます（スプレッターラムの場合は開きます）。
⑦油圧ラムのピストンロッド、スプレッダーラムを縮める場合、油圧ポンプの解放バルブを反時計回転方向に少しずつ回して下さい。
⑧油圧ポンプからラムを取り外す場合は、必ず解放バルブを反時計回転方向に回して、油圧ラムのピストンを縮めて（スプレッターラムを閉じて）から、ラムを取り外して下さい。
⑨使用後は、雄・雌カプラーにダストキャップを取り付けて下さい。
⑩必ず、ラムのピストンを最低位まで下降させ、油圧ポンプの解放バルブを時計回転方向に手で止まるまで回して保管して下さい。
※２本以上のエキステンションチューブを使用する時は、メールコネクターを使って接続して下さい。又、必ず最も短いエキステンションチューブをラムから一番遠い位置に取り付けて下さい。

３，メンテナンス方法

●動的箇所は常に清潔にし、定期的に注油して下さい。
●油圧ホースの磨耗、損傷が無いか、定期的に確認して下さい。損傷がある場合は、直ちに使用を中止し、新品と交換して下さい。
●オイル漏れや能力が不足してきた場合は、オイル量を確認して下さい。オイル充填方法は下記の通りです。
①油圧ポンプを水平な場所に置き、ラムを油圧ポンプより低い位置に置いて下さい。
②ラムのピストンに、負荷が掛からない状態にしてピストンを数回伸縮させてポンプ内のエアーを抜いて下さい。
③ラムのピストンを完全に縮めて、油圧ポンプに圧力が掛かっていない状態で、タンク上部のネジを外してオイルを注入して下さい。オイル量は、半分より少し多めに注入して下さい。
※スムーズに作動しない場合やオイル交換をした後は、ポンプのエアー抜きを行って下さい。

４，オイルの仕様

・オイルの種類：油圧専用オイル、又はタービン油　・粘度指数：１１１　・比重：１５．６℃；３０．８０　・引火点：１８６℃
・流 動 点：－４５℃　・粘度：４０℃；１５．２６ｍｍ^2／ｓ　：１００℃；８．５３ｍｍ^2／ｓ
※上記の仕様と類似オイルを使用して下さい。

５，作動不良と点検

●ラムのピストンが伸びない、又は自動的に下がってくる場合
・解放バルブが開いている可能性があります。解放バルブを時計回転方向に軽くロックするまで回して下さい。
・オイル不足の可能性があります。オイル量を確認して下さい。
●ラムのピストンが最高位まで上昇しない場合は、オイル不足の可能性があります。オイルを注入して下さい。
●ラムのピストンが自動的に上昇する場合は、オイルの入れ過ぎです。オイルを適正量まで抜き取って下さい。

６，注意事項

⚠警告　この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。

①車のボデー、フレームに本機をセットする時は、ラムのピストンロッドの中心に荷重が掛かる様にセットして下さい。
②本機使用中に外力を加えないで下さい。セットした場所から本機が外れる恐れがあります。
③傾斜面や軟弱地では使用しないで下さい。本来の能力が発揮出来ない恐れがあります。
④車のボデー、フレームにセットしたままで、持ち場を離れないで下さい。
⑤**解放バルブを急激に回すとピストンが急激に縮み、非常に危険**です。必ず、**徐々に回して**下さい。
⑥油圧ホースをラムから外す時は、必ず、解放バルブを反時計回転方向に回して、圧力を完全に解放してから取り外して下さい。

⚠注意　この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの。又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。

①**４トン以上の負荷を掛けて使用しない**で下さい。
②本機の分解、修理、改造は行わないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
③使用前には、各部を点検して、異常のある場合は使用しないで下さい。
④本機は、車のボデー、フレームを修正する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。
⑤油圧ポンプとラムの接続・脱着を繰り返すと、油圧ポンプ内のオイルは少しずつ減ります。定期的にオイル量を確認し、減っている場合はオイルを注入して下さい。尚、異なるタイプ、ブランドのオイルは絶対に混合しないで下さい。
⑥各部が破損した場合は、能力オーバーです。直ちに使用を中止して下さい。
⑦油圧ホースに腐食性、又は溶解性のある物質を近付けないで下さい。油圧ホースが破裂する恐れがあります。
⑧解放バルブを反時計回転方向に回し続けるとポンプ本体から外れます。回し過ぎない様にして下さい。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００